
「好き」の一言だけ...

ジャンヌ ダルク

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「好き」の一言だけ…

【Nコード】

N0416A

【作者名】

ジャンヌ ダルク

【あらすじ】

コナンは、ついに蘭に自分が工藤新一だと全て、自分の口から言った。そして、蘭の言った一言は?????

コナンは夜、独りで考えていた。もう、蘭に自分が工藤新一である全てを…話す。たとえ、蘭が何と言おうと…。明日の、夜…公園に誘って…哀に、アポトキシAPT4869の解毒剤…完全品…を、もう作って貰ってるし。戻りたい時には、蘭に怪しまれる時に飲めば良いというコナンの考え…。成功するか…。コナンは、考えを頭に入れて置き、ゆっくり目を閉じた。明日は、土曜日…。二人とも、学校は休みだ…。だから、ゆっくり話せる。

…次の日…

小五郎は、エリと、沖縄旅行三泊四日の旅に出ている。博士、哀、歩美、光彦、元太は、神戸に行っている。園子は、別荘でノンビリしているか…真とデート…。知り合いは家には居ない、小五郎が居ない為、毛利探偵事務所もお休みだ…。珍しく、今日は少し、蘭とコナンは、暗い感じだった、イツモなら小五郎が色々笑わすけれど、今日は小五郎が居ない為、盛り上らない…。

…夜 8時30分…

「ら、蘭ねーちゃん…話があるんだ…、ちょっと公園行かない？
???」

「あ、うん…」

アポトキシコナンは緊張していた。心臓の音がバクバクしていた。でも、APT4869の解毒剤…完全品…があるから、いつ怪しまれても、平気だからだ。コナンは途中で歩きを止めた。

「ど、どーしたの????コナン君…」

コナンの口は勝手に動き出したのだ…。

「蘭…もう、オレの事「コナン君」って呼ぶな…。オレは工藤新一だぜ???今まで、ウソを、

付いてた。蘭が「コナン君が新一なんですよ???」って言われた時は、「ち、違うよ、蘭ねーちゃん僕が、新一兄ちゃんな訳、ないじゃん!…」と、何度も言い訳してた。全てウソだ…。」

コナンは、緊張しながら言った。蘭は泣きながら言った。

「知ってたよ!…!…!そんなの!…!…!コナン君が新一だって事!…!私だって、ずっと…ずっと!…!」

コナン君が新一である事を知りながら、一緒に生活してたんだもん!…!…!ねえ、元の体に戻って

私に、私に「好き」の一言、言つてよ!…!…!お願い!…!新一…」
コナンは、解毒剤「完全品」を飲み込んだ…、これでコナンは、大人になり新一へと戻る…。

『ドックン、ドックン』

心臓の音がまた、今度バクバクしてくる。コナンは新一に戻った。

新一は、イキナリ蘭を抱きしめた。二人は顔を赤くしていた。そして、新一は言った…。

「好きだ…蘭…誰よりも大好きだから…」

こうして、二人は愛を誓った。でも、コナンはどうするかと云うと「急にコナンの母親、文代がコナンを迎いに来て、外国へ行った」と、言う事にシテオク。それに、新一は黒の組織

に生きているとバレると大変なので今は名前を変えている。髪型も

…。名前は、「江戸川新一」

眼鏡を欠けているせいか、優作に似ている。この秘密は、新一と蘭の二人だけのひみつなんだよ。

江戸川コナン（工藤新一）と毛利蘭のお話は幕を閉じたけれど、
次は、江戸川新一と毛利蘭の
ストーリーは新しく始まる…。

恋はまだ、始まったばかり…！！！！

終わり

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0416a/>

「好き」の一言だけ...

2010年10月28日03時30分発行